

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

匝瑳市まち・ひと・しごと創生推進計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

千葉県匝瑳市

3 地域再生計画の区域

千葉県匝瑳市の全域

4 地域再生計画の目標

日本が人口減少社会に入り、本市においては平成7年(1995年)国勢調査での人口、43,357人がピークであり、平成27年(2015年)国勢調査では37,261人となっている。その後の推計では、令和42年(2060年)には15,006人まで減少すると予測されている(社人研推計)。

本市の出生数・死亡数は、平成元年(1989年)まで、出生が死亡を上回る「自然増」であったが、その後、死亡が出生を上回る「自然減」の状況に変わり、「自然減」が加速している。本市の平成30年(2018年)の合計特殊出生率は0.98であり、全国の1.42、千葉県の1.34を下回っている。

本市における昭和55年(1980年)から平成29年(2017年)にかけての女性の年齢別出生数の推移を見ると、20～24歳が101人から18人、25～29歳が243人から54人、30～34歳は84人から71人と、いずれも減少している一方で、35～39歳は12人から37人と増加している。

本市の転入数は、平成3年(1991年)から平成30年(2018年)にかけて1,595人から778人へと減少しており、転出数においても、平成5年(1993年)から平成30年(2018年)にかけて、1,413人から901人へと減少している。一方、社会増減を見ると、平成14年(2002年)以降「転出超過」となり、人口が流出していることが分かる。特に、「15～19歳から20～24歳になるとき」に-513人と大幅な転出超過となっており、進学や就職などを契機に市外へ転出することによる影響と考

えられる。

以上のことから、現在、本市では人口減少の進行に、出産年齢の上昇、若者の流出が加わることで、更なる人口の減少を招く「縮小スパイラル」に陥るリスクに直面しており、人口減少への対応は待ったなしの状況である。

そして人口減少により、地域経済や地域社会の担い手不足や高齢化、ひいては地域経済や地域社会の停滞といった様々な課題が生じている。

これらの課題に対応するため、次に掲げる基本目標の達成に取り組み、若者が魅力を感じる雇用環境や住環境を創出・展開し、結婚・出産・子育ての希望を実現することにより、深刻な人口減少を抑制する。

- ・基本目標 1 ～そうさ!! 匠瑳で働こう～地域における若者の雇用を創出する
- ・基本目標 2 ～そうさ!! 匠瑳で暮らそう～匠瑳市への定住促進を進める
- ・基本目標 3 ～そうさ!! 匠瑳で育てよう～それぞれの結婚・出産・子育ての希望を満たす
- ・基本目標 4 ～そうさ!! 匠瑳でつながろう～地域との多様な連携を進める

【数値目標】

5-2の ①に掲げ る事業	K P I	現状値 (計画開始時点)	目標値 (2024年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
ア	市内民営事業所従業員数	12,205人	12,400人	基本目標 1
イ	社会増減数 (累計)	▲708人 (H27～R1)	▲270人 (R2～R6)	基本目標 2
ウ	合計特殊出生率	0.98	1.62	基本目標 3
エ	協働によるまちづくりが推進 されていると思う市民割合	24.2%	28.5%	基本目標 4

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

5-2のとおり。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

- まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する
特例（内閣府）：【A2007】

① 事業の名称

匝瑳市まち・ひと・しごと創生推進事業

ア ～そうさ!!匝瑳で働こう～

地域における若者の雇用を創出する事業

イ ～そうさ!!匝瑳で暮らそう～

匝瑳市への定住促進を進める事業

ウ ～そうさ!!匝瑳で育てよう～

それぞれの結婚・出産・子育ての希望を満たす事業

エ ～そうさ!!匝瑳でつながろう～

地域との多様な連携を進める事業

② 事業の内容

ア ～そうさ!!匝瑳で働こう～

地域における若者の雇用を創出する事業

若者の雇用環境の創出に向けて、農林水産業の生産性の向上及び安定した経営基盤の確立、新規就農者の確保、農業の企業経営化などを進める。併せて、首都圏に向けた供給地としての積極的なPRや地産地消の推進、様々なプロモーション活動を通じた認知度の向上と販路の拡大に努めるとともに、6次産業化など高付加価値化を進める。

特に、「日本有数の植木のまち」を国内外にアピールするとともに、技術者の育成を図り、植木産業の発展を推進する。

また、商工観光業の振興については、市外からの企業誘致を図る。企業誘致については、「みどり平工業団地」のような大規模な誘致体制だけでなく、サテライトオフィスなどの小規模な誘致体制も整える。

また、本市で就職する若者を支援するとともに、本市の企業と若者の交流やマッチングの機会を創出する等、様々な支援を通じて地元就職者の増加に取り組む。

さらに、効果的な地域情報の発信に努め、地域に根付いた若者の活動

が起業につながり、新たなサービス提供につながるよう、有機的な連携と施策支援を図る。

【具体的な事業】

- ・ 農業従事者の確保
- ・ 地域外からの企業誘致の推進
- ・ 起業支援の推進
- ・ 就労支援の充実による雇用の創出 等

イ ～そうさ!!匝瑳で暮らそう～

匝瑳市への定住促進を進める事業

本市からの転出抑制を図ることと併せて、転入者数を増やすため、住宅取得への支援や、空き家バンクの登録物件を充実させる。また、移住希望者に対する情報の発信や、相談体制の整備などを積極的に推進する必要がある。さらに、若者がより本市に親しみや愛着をもち、将来にわたって住み続けたいと考える仕掛けづくりにも取り組む。

また、健康でアクティブな高齢者の移住を積極的に受け入れる体制を整備する。

【具体的な事業】

- ・ 定住・移住人口の確保
- ・ 高校生のまちづくりへの参加
- ・ 生涯活躍のまちづくり 等

ウ ～そうさ!!匝瑳で育てよう～

それぞれの結婚・出産・子育ての希望を満たす事業

地域全体で子育てに関する相互支援のための輪を広げ、ともに助け合い、子育て家庭が気軽に集まり相談できるよう、子育て世代のコミュニケーションの機会を充実させる。

また、子育て世代の負担を軽減するため、保育料軽減や各種助成・支援を行うとともに、育児休業・休暇の取得奨励などを進め、子育てにつ

いての不安や負担を和らげるよう努める。そして、子どもたちの遊び場や学びの場の確保を進める。

さらに、医師会との連携を強化し、安心して子どもを産み、育てるための環境づくりと情報発信を行う。

結婚についても、婚活への支援を今まで以上に進めていき、婚活イベントのカップル数や成婚者数を増やしていくために、さらなる情報発信や、結婚への支援を地域全体で推進していく仕組みを構築する。また、地元企業などと連携した婚活イベントを実施するなど、より一層効果的な施策を推進する。

【具体的な事業】

- ・子育て世代のコミュニケーションの充実
- ・子育て世代の負担軽減
- ・子どもたちの遊び場の確保
- ・安心して子どもを産み、育てるための環境づくり
- ・婚活支援の充実 等

エ ～そうさ!!匝瑳でつながろう～

地域との多様な連携を進める事業

本市の活性化や課題解決のために、行政や市民活動団体、企業など多様な主体が連携・協働して取り組めるよう、各種制度の整備を行い、取組実施のための基盤整備を行う。また、本市の魅力アップと認知度向上のために、各種産業間と情報共有を図り、様々なプロモーションと取組を通じて、観光交流客数や宿泊客数、関係人口を増やすとともに、利用者の満足度を向上させる。

【具体的な事業】

- ・多様な主体による連携・協働の促進
- ・交流人口の増加
- ・シティプロモーション活動の推進と関係人口の増加
- ・スポーツを軸とした連携と交流づくり 等

※なお、詳細は第2次匝瑳市まち・ひと・しごと創生総合戦略のとおり。

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（KPI））

4の【数値目標】に同じ。

④ 寄附の金額の目安

23,500千円（2020年度～2024年度累計）

⑤ 事業の評価の方法（PDCAサイクル）

毎年度8月に、外部有識者で構成する「匠瑳市まち・ひと・しごと創生市民会議」による効果検証を行い、翌年度以降の取組方針を決定する。検証後速やかに匠瑳市公式ホームページ上で公表する。

⑥ 事業実施期間

地域再生計画の認定の日から2025年3月31日まで

5-3 その他の事業

5-3-1 地域再生基本方針に基づく支援措置

該当なし

5-3-2 支援措置によらない独自の取組

該当なし

6 計画期間

地域再生計画の認定の日から2025年3月31日まで